

藤の花

原民喜

青空文庫

運動場の白い砂の上では四十人あまりの男女が体操をしてゐた。藤棚の下で見ると微風が睡気を運んで来るので、体操の時間は停まつたままでも動かない。機械体操から墜ちて手首を挫いた豊が、ネルの着物の上に袴を穿いて、手を※帯で首から吊つてゐた。そのすぐ側には女の子が二人、やはり体操を休んでゐた。一人の女の子は髪が日向の枯草のやうに乾いてゐて、顔が年寄のやうに落着いてゐた。もう一人の女の子は何となく朝顔の芽に似た顔をしてゐた。豊の頭の上には藤の花が垂れ下つてゐる。その藤の花を裂いて蜜を舐めることを、豊は佐藤から教はつてゐた。佐藤は熊の子のやうな恰好で今も体操の列にゐた。(さやえ

らんど、さくらんぼ、どうしてこのごろは、うっとりどろりとしたきりすずめ）豊はちいちく、ちいちく啼く雀の声を眼をひらいたまま、夢のやうに聴いてゐた。すると、なにがどうかなしのかわからないが、とにかくかない。

……はつと思ふと、すべてが彼の趾の裏から墜落して行くのであつた。女の子の一人は縦縞のじみな着物を着て、鼻に小皺を寄せたまま、もう一人の女の子は赤い襷を掛けて、煤けた腕を露出したまま、熊の子のやうに佐藤はもちやもちやに頬鬚を伸し、齒をタバコの脂だらけにして、その他四十人あまりの顔がみんなそれぞれ変つてゐるのに気も着かず、まだ体操を続けてゐた。そして、どしどし運動場は墜落して行く。豊は耐りかねて、負傷し

てゐないほうの手で、藤の花にぶらさがった。

青空文庫情報

底本：「普及版 原民喜全集第一巻」芳賀書店

1966（昭和41）年2月15日初版発行

入力：蔣龍

校正：伊藤時也

2013年1月24日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

藤の花

原民喜

2020年 7月13日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>